



まごころ



第51号  
2024年  
1月発行  
慈英病院  
広報誌

## 新年のご挨拶



2024年を迎えました。皆様は、如何お過ごしでしょうか？。

さて年頭のご挨拶としては不適切かもしれませんが、元旦に発生した能登半島地震についてです。コロナの移動制限が解除された最初の正月で多くの方が帰省して集まった時に起こったのでさらに被害を大きくしたと考えられます。タイミングとしては最悪だったと思います。未だ被害の状況は確定していませんが家屋の倒壊や津波の被害、道路の使用不能による救援物資の配送困難など私たちにも考えさせられることが多くあります。また、上下水道が使用不能になりトイレが使用不能となる事を改めて考えさせられました。(飲料水は、かなりの備蓄があるトイレ等に使用する水を備蓄している所がほとんど無い点等)何気ない毎日が過ごせる事、それだけでありがたいことであると感謝しなくてはならないとも思われました。被災された方々に一日も早く平穏な日々が訪れることを祈っております。

さて、2020年に始まった新型コロナの流行は3年目が過ぎて4年目になりました。

新型コロナも昨年より第2類から第5類となり規制が次第に解除されてきております。実際の流行も昨年8月からの流行を最後に現在ではインフルエンザの流行が中心になっております。当院でも8月末より院内で新型コロナの集団発生が起こり収束するのに9月末まで掛かりました。その間の入退院の中止、感染者の隔離などで入院患者の家族や他の病院、老人ホーム等に非常にご迷惑をおかけしました。当院でも政府の規制緩和に合わせて面会謝絶を部分解除しております。さすがにコロナ流行前と同じには出来ず、午後3時から5時までの短い時間の面会になっており申し訳なく思っております。面会する家族の方には、発熱の有無やコロナ患者等に接触の有無やその時期などに注意をはらう事への御協力等よろしく申し上げます。(不明な点は、遠慮無く医師や病棟ナースにお尋ね下さい。)また、今後も新型コロナやインフルエンザなどの流行が起こると予想されます。対策としては、アレルギー等で接種不可の方を除き予防ワクチンの接種をお勧めします。それと部屋の換気に注意をはらって下さい。

今年も慈英病院の理念である「真心込めた医療を提供し、皆様に愛される病院を目指します」を忘れずに新たな年を頑張っていきます。

病院長 前田正存

## 地域医療連携室

当院では、急性期治療を終えたが引き続き入院治療が必要な方、術後や病気の後遺症などで集中的なりハビリテーションが必要な方、医療依存度が高くショートステイ先が見つからない方をご紹介いただき、速やかにご入院できるよう体制を整えております。

地域医療連携室には専従の看護師と社会福祉士が勤務しています。入院前から面談を行い退院までしっかり担当することで、安心して療養生活が送れるように入院中から多職種や地域支援職の皆様と連携を図り情報交換を重ねております。自宅退院支援や生活の場の確保(施設等)など入所調整も行っております。

また、介護保険等の福祉制度や経済的な諸問題、様々な不安や心配事のご相談に応じております。

◎お問い合わせ先《連携室直通TEL:0985-41-5002》担当:岩切、宮崎、源




# 院内水害訓練




昨年度完成した非常階段を使用し今年も水害が発生したと想定し、屋上へ避難するための搬送訓練を行いました。最も注意すべきことは、患者様への負担をどれだけ減らせるかであり、階段を上る方向に患者の頭側を向けたら、屋上への階段は最後の3段は下りとなっている為、頭側が下にならないように搬送するなどスタッフは患者さんの気持ちになりながら注意して搬送訓練を実施しました。

## クリスマス行事食



 **Merry Christmas**

12/25(月)の昼食は  
クリスマス行事食となっております。  
メニュー〜♪  
・チキンライス  
・照り焼きチキン  
・エビフライ  
・ポテトサラダ  
・コーンポタージュ  
・いちご  
・クリスマスケーキ



ハッピー  
メリークリスマス

12/25(月)はクリスマス行事食を提供しました。クリスマスらしくプレートに盛付けてクリスマスケーキと一緒に提供しました。普段とは違う形での提供に皆さん大変喜ばれていました。

栄養給食科 小倉 弘樹



# 通所リハビリテーション



クリスマス会を2日にかけて開催しました。午前中はダルマや絵馬の制作物を行い、午後からはビンゴ大会・クイズ大会をしました。



折り紙でダルマを作ったよ



絵馬に願い事



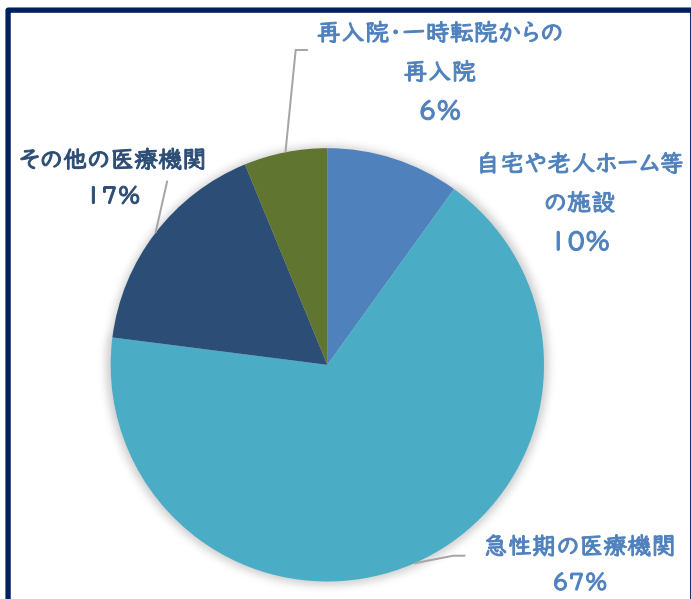
2024年の干支・辰を新聞紙で作りました。製作期間は2ヶ月です。



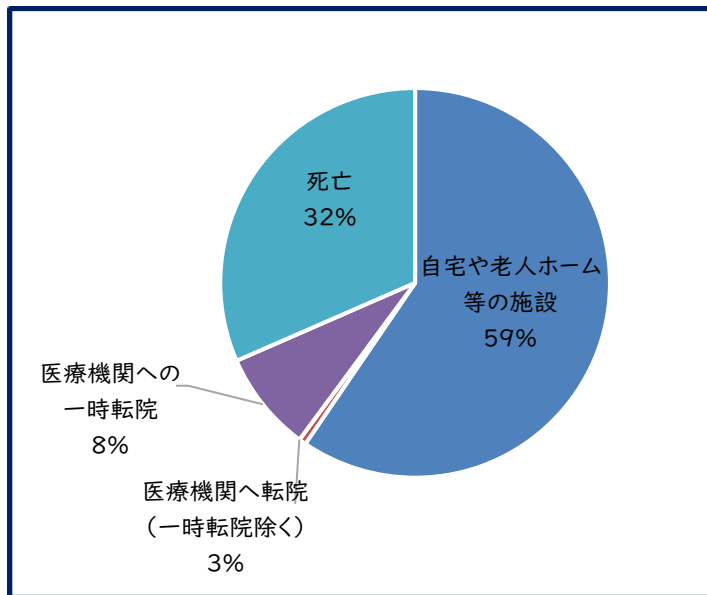
ビンゴ大会・クイズ大会は皆さま笑顔で大盛り上がりでした。

# クリニカルインディケーター 2023年(令和5年)

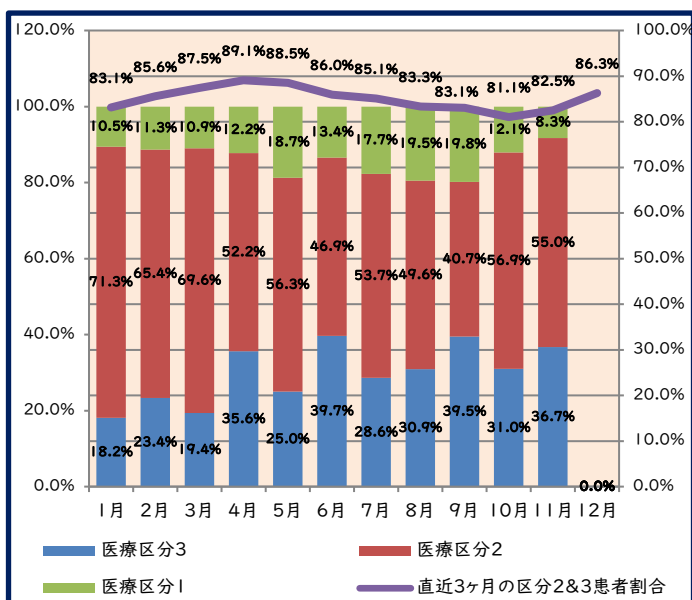
前方連携の状況(令和5年1月～11月)n=161



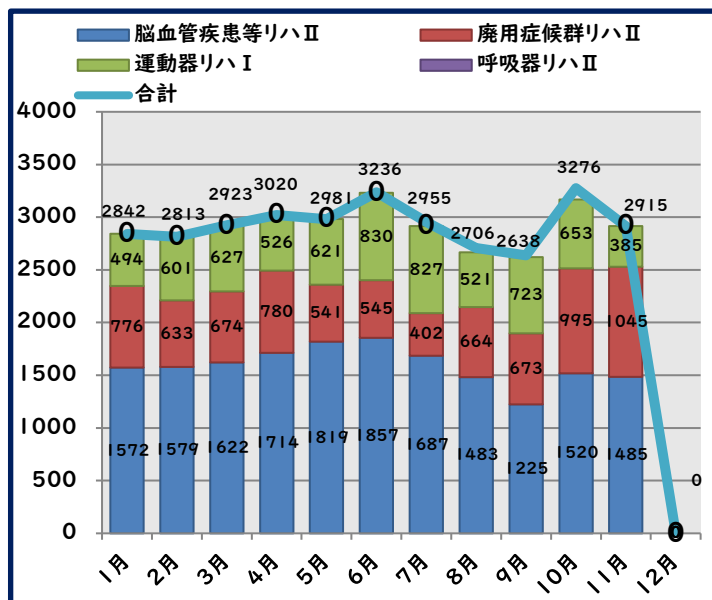
後方連携の状況(令和5年1月～11月) n=168



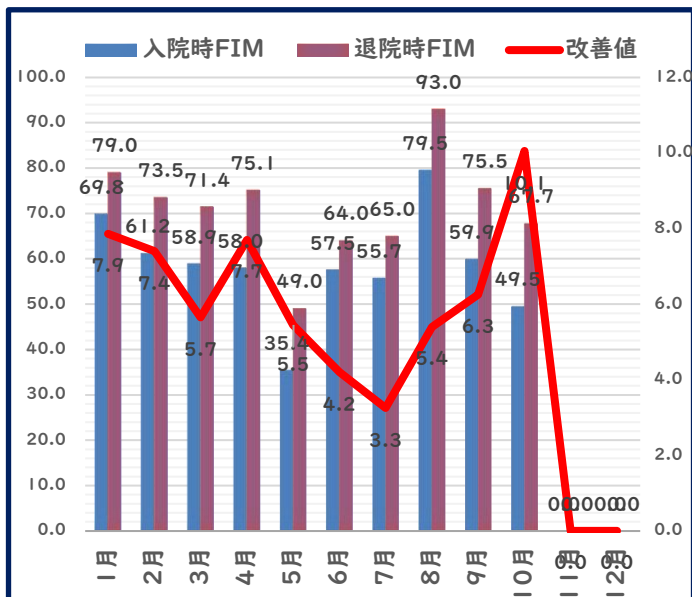
医療区分(\*1)別入院患者の割合



疾患別リハビリテーション(\*2)実施単位数



軽快退院患者におけるFIM(\*3)改善値



参考) グラフ内の用語説明

**\*1「医療区分」**

医療療養病床に入院された患者様の入院基本料において、医療の必要度を3段階で表したものです。

「医療区分1・2・3」と、数が多くなるほど医療が必要となります。例えば、中心静脈栄養、呼吸器装着、指定難病、24時間の観察が必要な患者様は、医療区分3となります。

**\*2「疾患別リハビリテーション」**

主となるリハビリの治療内容に応じて医師が判断して行います。1単位は20分です。

**\*3「FIM」**

世界共通のADL(日常生活動作)評価表です。指標として110点以上で介助に必要な時間は0分です。点数が低くなるほど、介助に必要な時間は長くなります。最低18点、最高126点です。